

【結腸がん】

われわれは、患者様に安心した入院生活を送って頂くために、入院中に受ける手術や検査の予定、手術後のリハビリなどの治療の内容、食事やシャワーなどの生活の流れを時系列に沿って治療計画（クリニカルパス）としてまとめ、入院中に患者様が受けられる治療の流れについて事前に理解して頂いています。クリティカルパスによって、患者様は自分の治療経過を知ることができるとともに、医療スタッフはチームとして患者様の治療過程を共有でき、医療の安全や質の向上に役立てることができます。しかし、すべての患者様にクリニカルパスが使用できるわけではなく、年齢や併存疾患などが原因でクリニカルパスとは異なる経過をたどることがあることもご理解ください。

ここに、現在われわれが使用している「結腸がん」に対するクリニカルパスを示しました。「大腸がん」は、大腸に発生した悪性腫瘍の総称で、「結腸がん」と「直腸がん」に分類されます。ここに示した「結腸がん」とは、「虫垂がん」・「盲腸がん」・「上行結腸がん」・「横行結腸がん」・「下行結腸がん」・「S状結腸がん」が該当します。早期の退院も重要ですが、当科では患者様には精神的にも身体的にも安心してゆったりとした入院生活を送って頂くために、術後は少し余裕をもって治療計画を立てています。このクリニカルパスは年間約300名の方に利用され、このような入院生活を送ります。

消化器外科

結腸の手術を受ける患者さんへ

患者さん用

No. 1

お名前:

主治医:

担当看護師:

項目	月日 /		入院3日目		
	入院当日	入院2日目	手術当日(手術前)	手術当日(手術中)	手術当日(手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院環境に慣れる。 手術に対する不安を少しでも軽減できる。 手術を受けることについて理解でき、心の準備ができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 痛い時や眠れない時、医師や看護師に伝えることができる。 術後の安静を守る。
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 服用中のお薬は看護師が一度お預かりします。担当医師に確認し、内服が必要であれば改めてお伝えします。 体温や血圧を測定します(検温)。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がおへそをきれいになります。 点滴を始めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示されたお薬のみ内服してください。 (必要時)手術室入室前に弾性ストッキングを着用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中より痛み止めの管が挿入されます。 胃や腹部に管が挿入されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検温します。 酸素マスクと心電図モニターを装着します。 24時間点滴が続きます。
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血 採尿 		<ul style="list-style-type: none"> 腹部レントゲン 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 病院内を自由に歩行できます。(歩行状態によりつきそいます。) 				<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッド上安静となります。 寝返りの際は、ナースコールでお知らせください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食べられないものやアレルギーがある方は医師または看護師にお伝えください。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事は摂れません。水分のみ可能です。 朝・夕食時に栄養剤がでます。 	<ul style="list-style-type: none"> 5時以降、水分の摂取もできません。(うがい・歯磨きは可能です。) 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーを浴びる事が出来ます。(状態により看護師がつきそいます。) 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 眠る前に下剤を内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 2Lの下剤を内服します。 お通じの状態を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室入室前にトイレに行きましよう 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でお小水の管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 排便はベッド上で便器を使用して行います。
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院、術前のオリエンテーションを行います。 ※入院、手術に必要なものを看護師が説明しますので、不足しているものは手術前日までに用意してください。 手術について医師からの説明があります。(承諾書類の説明もあります。) 手術前日までに手術承諾書を含め、承諾書類をお預かりします。書類にサインがあるか確認してください。 術前外来で希望された方は、手術室看護師の訪室があります。 貴重品は床頭台のセーフティーボックスに入れ、鍵は必ず持ち歩いてください。 入院中は禁煙してください。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術出棟時は、指輪・時計・コンタクト・眼鏡・義歯(ブリッジを含む)・装飾品は外してください。 深部静脈血栓予防目的で、弾性ストッキングを着用、または手術後フットポンプを使用する場合があります。 手術室まで車椅子から徒歩で移動します。 手術中、ご家族の方は入院している病棟のデイルームでお待ちください。食事等で病棟から離れる際はスタッフまで声をおかけください。 手術後、医師よりご家族へ手術について説明します。 貴重品は、セーフティーボックスに入れて、鍵は、付き添いの方に預けてください。(付き添いの方が来られないなど、やむを得ず貴重品管理ができない場合は看護師にご相談ください。) 		

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。

結腸の手術を受ける患者さんへ

月日 項目	入院4日目 手術後1日目	入院5日目 手術後2日目	入院6日目 手術後3日目	入院7日目 手術後4日目	入院8日目 手術後5日目	入院9日目 手術後6日目
	達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 立位や歩行ができる程度に痛みのコントロールができる。 看護師のつきそいで歩行ができる。 痛い時や眠れない時、医師や看護師に伝えることができる。 飲水することができる。 イレウス症状がない 	<ul style="list-style-type: none"> 食事を摂ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 必要な介助を受けながら、身の回りのことが自分でできる。 生活リズムをつけることができる。 	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝、医師の診察があります。(回診) 回診時に医師が胃管を抜き、心電図モニターと酸素マスクを外します。 歩行状況に応じ弾性ストッキングまたはフットポンプを外します。 起床後、日中、眠る前に検温します。 	<ul style="list-style-type: none"> 整腸剤の内服が開始になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 回診時、医師が腹部に入っている管と背中への痛み止めの管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めと漢方薬の内服が開始になります。 午前、眠る前に検温します。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日で点滴が終了します。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、採尿 胸部、腹部レントゲン(ベッド上) 			<ul style="list-style-type: none"> 採血、採尿 胸部、腹部レントゲン 	<ul style="list-style-type: none"> 腹部レントゲン 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 看護師のつきそいのもと、歩行できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を自由に歩行できます。(歩行状態によりつきそいます。) 		<ul style="list-style-type: none"> 病院内を自由に歩行できます。(歩行状態によりつきそいます。) 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 検査の結果を見て、本日より水分が摂れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼から流動食が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼から流動食+半固形食になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼から3分粥になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼から7分粥になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼から全粥になります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんの希望時に看護師が体を拭きます。(洗髪や足浴も可能です。) 					
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 歩けるようになったらトイレが使用できます。(看護師が付き添います) 			<ul style="list-style-type: none"> お小水の管を抜きます。 トイレ内の蓄尿の器械に尿をためてください。(以下蓄尿) 	<ul style="list-style-type: none"> 蓄尿を続けてください。 	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 術後の経過は医師より適宜説明があります。 歩行は腸の働きや肺の働きを良くするため、また、深部静脈血栓を予防ため、積極的に歩行しましょう。もし、傷が痛む場合は痛み止めをお出ししますので、いつでもお伝えください。 歩き始めは転ぶ危険がありますので、気を付けてください。 身体にとって大切な管(点滴、背中からの痛み止め、腹部の管など)が挿入されています。歩行の際は気をつけてください。 飲水開始後、気分が悪くなったら看護師へお伝えください。 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後の経過や今後の治療方針については、医師より適宜説明があります。 		

ご質問やご不明な点がございましたら、医師または看護師にお伝えください。
 予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。
 東邦大学医療センター大森病院
 平成29年2月9日更新

結腸の手術を受ける患者さんへ

月日	/	/	/	/
項目	入院10日目	入院11日目	入院12日目	入院13日目
	手術後7日目	手術後8日目	手術後9日目	退院日
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イレウス症状がない。 ・退院後の生活について、わからないことがあれば聞くことができる。 ・退院後の食事について理解できる。 ・外来通院の必要性を理解でき、継続治療を行うことができる。 			
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・日中と眠る前に検温します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士より食事指導があります。 ・日中、検温します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時、必要なお薬の処方があります。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血、採尿 ・胸部、腹部レントゲン 			
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内を自由に歩行できます。 (歩行状況により付き添います。) 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・全粥 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴ができます。 (必要時看護師がお手伝いします。) 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄尿は終了です。 			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の食生活についてパンフレットを用いて説明します。 			<ul style="list-style-type: none"> ・退院が決まりましたら、退院後の外来受診日をお伝えします。 

ご質問やご不明な点がございましたら、医師または看護師にお伝えください。
 予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。
 東邦大学医療センター大森病院
 平成29年2月9日更新